



人権フォーラム

12月7日(火)に、本校の2年生と内部小学校、内部東小学校の6年生とで、『人権フォーラム』を行いました。この取り組みは、人権について校種を越えて意見を交流することが目的です。今回は、「みんなが安心してくらすまち」をテーマに、互いに意見の交流を行いました。ZOOMでの開催だったこともあり、初めは緊張している様子でしたが、中学生は自分の意見をはっきりと丁寧に伝え、小学生も大きな声でハキハキと発表する姿が見られました。また、互いに拍手などのリアクションなどを送り合うことで、コミュニケーションを取りながら進めることができました。



はじめは、ある街の様子が描かれたマップから、良いと思う場面や、気になる場面について交流しました。いつもだと見逃してしまうような場面(良さや課題となること)に、たくさん気づくことができました。この活動を通して、「気づく」ことの大切さ、「気づく」ためには、「その視点を持って様々な事柄を見ていく」ことの大切さを感じる事ができました。



次に、マップの中から提示された3つの場面について、なぜそのようなことが起こっているのか、そしてそこで大切にしなければいけないことは何なのかを考えました。例えば、点字ブロックの上に自転車が駐車してある場面では「知ることの大切さ」を、公園に様々な言語の避難場所の案内がある場面では「どんな人も認め合い、支え合うことの大切さ」を、バスの中で妊婦さんや高齢者が立っている場面では、譲る気持ちを「実際の行動に移すことの大切さ」について学ぶことができました。他者の発言や、やりとりの中で、新たな気づきを得た生徒も多くいました。

例年度とは異なる形式での開催となりましたが、子どもたちが意欲的に取り組んでくれたおかげで、「気づき」のある、大変有意義な人権フォーラムとなりました。

また、本校の生徒と、内部小学校、内部東小学校の6年生とが交流することができ、来年度につながる、充実した時間を過ごすことができました。



記念のプレート

今年の夏に開催された東京オリンピックに本校卒業生の中村匠吾さんがマラソンの選手として出場されました。先日、中村選手のお父様が来校されて、「応援して下さった方に渡して欲しいと匠吾が送ってきました」と、陸上競技に出場した選手と、その関係者の方が寄せ書きをしたプレートを届けてくださいました。

みなさんもお存じのように、オリンピックは新型コロナウイルス感染症の影響で1年延期となりました。コンディションを維持することは、私たちが想像する以上に大変だったとのこと。また、世界レベルの試合に臨むためのモチベーションを維持すること、怪我等を抱えながらハードな練習を続けること、過酷な気象状況の中で走ること等、何度もくじけそうになったそうです。そうした時に、地元を含めた様々な人たちからの温かい応援が、心の支えになったそうです。

中村選手だけでなく、私たちが日々、様々な人たちの支えや心づかいを受けて生活しています。ふとすると、そうしたことを当たり前にして忘れてしまいがちですが、やはり感謝の気持ちを、いつも忘れないようにしたいものです。私たちは、常に誰かの支えを受けながら生きています。

記念のプレートは、昇降口にあるガラスケース内に展示してありますので、ご覧ください。



ICTの活用 その①

『ICT』という言葉をよく耳にしますが、その意味を正しく理解している人は、意外と少ないのではないのでしょうか。英語で表記すると、『information and communications technology』で、『通信情報技術』のことです。『IT (情報技術)』に、様々な『通信サービス』の要素が付加された言葉です。『通信サービス』には、電話、ビデオ会議、電子メール、SMS、ファックスなどがあります。また、身近な例をあげると、SNS上でのやりとりやメールでのコミュニケーションがそれにあたります。うまく活用することで、人同士のコミュニケーションを手助けする事につながります。また、学校(教育)におけるICTの活用例は、以下に示すような内容です。

- ・タブレットでインターネットを使って、調べ学習をする。
- ・教室のプロジェクタに問題を掲示し、書き込み等しながら解き方を共有する。
- ・生徒たちがタブレットで作った発表資料を、一瞬でクラス全員の端末に共有する。

これまでの学び方に比べて、視覚的にわかりやすくなり、情報の受け渡しがスピーディになりました。生徒たちも随分と操作に慣れてきていますので、意見や情報をやりとりする上で便利になったことは事実です。しかし、『ICT』が万能ではないことも理解しておくべきです。

意見をやりとりするためには、個々がちゃんと意見を持っていることが基本ですが、それを相手に伝えるためには、『言語活動』が充実していないといけません。また、各教科の基本的な内容をちゃんと理解している必要があります。『ICT』は、日々の『学び』に適切に活用すべきものです。また、人同士の『望ましい』コミュニケーションを手助けするためものです。